

しがしかわ

写真の町

議会だより



キトウシ森林ウォーキング

第4回定例会を開催	2~3
第6回臨時会	3
ここが聞きたい一般質問に4議員が登壇	4~7
定例会・臨時会質疑	8
意見書・研修報告	9
議案決議	10~11
議会日誌・編集後記	12

No.168

平成28年2月1日発行

発行：東川町議会

編集：議会報編集特別委員会

〒071-1492 北海道上川郡東川町1丁目

☎0166-82-2111

第4回 定例会を開催

- 第4回定例会を、平成27年12月15日、開催しました。
- 4名の議員が7項目の一般質問をしました。
- 「東川町地域自治振興区の設置に関する条例」などの条例案、一般会計の補正予算案など、議案9件をはじめ報告、意見書案について審議し、原案可決または、承認済・報告済としました。
- 東川町に貢献された方々を表彰しました。
- 11月30日に第6回臨時会が開催され、一般会計・公共下水道事業特別会計及び町立診療所特別会計補正予算案など議案7件をはじめ報告を審議し、原案可決または、報告済としました。

補正予算

● 一般会計

約4013万円を増額し総額は6億5425万円となりました。

歳入、歳出の主なものは次の通りです。

歳入

① 使用料及び手数料

(703万円)

日本語学校の授業料・

入学金・教材費などです。

② 国庫支出金

(4067万円)

国民健康保険負担金6

24万円、地方創生交付

金3145万円、子育て

支援交付金772万円他

が増額です。

社会資本整備総合交付

金1273万円が減額で

す。

③ 道支出金

(2434万円減)

国民健康保険負担金5

53万円、子育て支援交

付金1161万円他が増

額です。

地籍調査費負担金30

0万円、地域づくり総合

交付金1870万円、放

課後児童対策補助金13

08万円、緊急雇用事業

交付金311万円他が減

額です。

③ 町債

(7456万円減)

臨時財政対策債294

4万円、改善センター大

規模改修事業9120万

円が増額です。

土木債410万円、辺

地対策事業1億9110

万円が減額です。

歳出

① 防災宿泊センター管理

運営事業 (470万円)

備品・消耗品及び指定

管理委託料です。

② 写真の町国際化推進事

業 (1260万円)

写真甲子園映画化の準

備委員会の設置と支援及

び写真の町実行委員会へ

の貸付(交付と同時に返

還)です。

③ 国民健康保険等推進事

業 (1946万円)

後期高齢者医療費の増

加とマイナンバーシステ

ム導入に伴う広域連合負

担金の増額です。

④ 子ども医療費給付事業

(520万円)

大幅な受診件数・医療

費の増加に伴う増額です。

⑤ 農業振興対策事業

(450万円)

国営緊急農地本部負担

金増加と特産品ブランド

化推進協議会への貸付

(交付と同時に返還)です。

⑥ 公的賃貸住宅維持管理

事業 (250万円)

退去時の修繕費の不足

分の増額です。

⑦ 民間住宅施策推進事業

(1078万円)

申請件数増加による増

額です。

⑧ 減債基金事業

(983万円)

減債基金に積み立てし

ます。

条例の制定・改定

● 町地域自治振興区の設置に関する条例

56行政区を現在の5自治振興会単位に再編します。

任意組織の自治振興会が、公の役割を担う機関と位置づけられ、地域の要として町と連携して地域自治を進めます。

● 個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例

効率的かつ正確な事務の執行や提出書類の削減など、住民の利便性を高める事務は、自治体が条例で定めることにより、個人番号を利用できます。

● 防災宿泊センター条例

旧東川小学校東側校舎を改修して、現在完成している防災宿泊センターについて、1月より運営を開始するため本条例を

臨時会

制定します。

施設整備は、国の緊急防災減災事業債を活用して整備し、災害発生時に避難宿泊施設として使用が基本的な考え方です。平常時には留学生及び一般の方の宿泊施設として活用できる形で旅館業法の「簡易宿所」として施設運営をします。

●町税条例等の一部改正

納税者の負担軽減を図り、早期かつ的確な納税の履行を確保する観点から、納税の猶予制度が創設されました。

協定変更等

●定住自立圏形成協定の變更

広域観光のネットワーク化・防災体制の整備の項の改定です。

●指定管理者の指定

防災宿泊センターの管理者を株式会社東川振興

公社に指定しました。

●監査委員の選任

任期満了となる前任者の退任により、新たに安井繁光氏の選任に同意しました。



●被表彰者の推薦・表彰

東川町表彰条例に基づく自治功労表彰、消防功労表彰が行われました。○自治功労表彰

紺野 桂子氏



○消防功労表彰

30年 能沢 勇人氏
25年 秋葉 政幸氏
20年 篠原 猛志氏
15年 児玉 晃一氏

中條 勝彦氏

10年 松尾 光晃氏

川合 博之氏

中田 篤志氏

松崎 大輔氏

岡村 博信氏

第6回臨時会

(11月30日)

●一般会計

約3357万円増額し、総額は6億9437万円となりました。

①ひがしかわ株主事業 (1189万円)

楽天・ポータルサイトへの登録による株主数、投資額共に急増による返礼品や優待商品・株主証の額などの委託料の不足分の補正です。

投資事業の見直し・返礼品の種類の拡大などに係るホームページの製作委託料、株主管理システムの改修経費、新たなパンフレットの作成費などで、全額株主基金からの繰入金を充当します。

②写真文化首都推進協力

支援事業 (431万円)

当初、家具・クラフト

振興の協力隊員を確保採用するため、予算措置を

しましたが、この分を町

立日本語学校の開設に伴

う協力隊員2名の採用に

振り替えたため、予算の

組み替えです。

③社会福祉対策事業 (101万円)

オール電化の公営住宅に住む、非課税世帯で65歳以上の世帯、ひとり親世帯、障害者のいる世帯、生活保護受給世帯などに対し、一部を助成するものです。

●公共下水道特別会計

旭岳温泉処理区維持管理事業の修繕料の増額により、418万円を増額し総額は1億8168万円となりました。

●町立診療所特別会計

人事院勧告に伴う給与等及び事務管理費の公課費で7万円を減額し、総

額は3億9311万円となりました。

条例の改定

国の人事院勧告に基づく、関連条例の改正。
①職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
②議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
③特別職の職員で常勤のもの給料及び旅費支給条例等の一部を改正する条例

●山林の取得

場所 東7号北7線奥
面積 190・91ha
取得額 6500万円

◆訂正

平成27年11月1日発行の議会報のなかで、一部お名前に誤りがありました。

4ページの人事の項目で、正しくは、高橋繁敏氏です。お詫びして訂正します。

ここが聞きたい 一般質問

(4議員が登壇)

問 マイナンバーの活用は

答 独自機能は今後検討



藤原 啓子

質問

1月から利用開始のマイナンバー制度について、質問します。

① 本町の通知カードの受給状況をうかがいます。1月以降発行のマイナンバーカードの申請状況はどうですか。

② マイナンバーの管理体制は、十分ですか。

③ 事業主の情報管理指導は、どうしていますか。

④ マイナンバーカードに、町独自の利便性を考えますか。

町長

① 不在で役場に送付さ

便性・コストなど、今後検討していきます。

再質問

本町も、市町村に託された、カードの利便性を活用すべきです。

町長

住民サービスにも、行政にも良い利用を、少時間をかけて考えます。



問 生活困窮者自立支援体制は

答 福祉団体に委託し、道と連携

質問

本町の生活困窮者自立支援制度は、どうなっていますか。

町長

上川管内19町村は、北海道が事業主体です。道は道社協に委託し、

自立相談支援センターがみかわほととかないセンターと連携し、生活困窮者支援事業を行います。町では、保健福祉課社会福祉室が窓口です。

相談支援は、東川社協とこころんに委託し、ほととかないセンターと連携して、適切な自立支援につなげます。

民生委員・社協・町が十分連携し、対応します。

再質問

① 相談窓口について、町民への周知は、どのようにしていますか。

② 相談支援員の養成は、どのようにしていますか。

③ 生活困窮世帯の、子どもの学習支援は、取り組んでいますか。

町長

① 広報などで、周知をしています。

② ほっとかないセンターと、連携を取って進めるのが良いと思います。

教育長

③ 本町では、学習塾に行かなくても、個別指導が受けられるよう、中学校にて地域未来塾を立ち上げ、支援しています。

児童保育でも、学習習慣が身に付くように、支援員を配置しています。

生活困窮世帯に限定せず、全ての子どもに対して支援する体制を、整備していきたいと考えます。

一般質問

問 旭岳源水公園の管理は

答 効率的な適正管理を



能登 暢吉

質問

整備が始まってから10年以上経過し、今までに1億円近く投資して現在では素晴らしい公園になっています。

最近では町民で源水を汲みに来る人は、ほとんどいません。

26年度の協力金は約238万円、人件費が約310万円なので約72万円のマイナスとなっていることから、協力金を町民は車1台につき1000円以上、それ以外は車1台につき2000円以上に変えてはと思います。町としての考えをお聞

正管理をしたいと考えています。

新たな設備計画として駐車場の増設、東屋の設置等を考えています。

再質問

これだけ整備され管理人も置き、喜ばれている源水です。決して2000円以上の協力金をお願いが高いとは思っていません。

もう1点、管理人を置いていない期間の利用者について調査した所、冬は、除雪もきれいにしています。

人がいれば約9割ほど、いなければ約2から3割程度の協力金でした。車は1時間当たり約11台で、近くにトイレがないために、公園内で用をたす人もいるようです。目の前にある管理棟のトイレも使えるようにしてはと考えます。お聞かせください。

町長

中には少なく又は多く入れる人もいると思いますが、協力金を強制的にいただく事は難しいので、様子を見ながら、どのような対策が良いのか考えてもいいと思っております。冬期間の事ですが、衛

生的な場所でのこのような事は、好ましくないと考えます。考え方としては、管理人を置く、または閉鎖をする、あるいは時間帯を区切って開けるなど、どういう管理のやりかたが良いのかを含めて、予算の時期に合わせて、検討させて頂きたいと思



大雪旭岳源水公園

一般質問

問 デマンドバス、除雪の改善を

答 改善し良い環境づくりを



鶴間 松彦

(一問一答方式)

質問

町の高齢者福祉計画で生活支援上のサービスなどが計画され、大変喜ばれています。

一方で独居世帯や障がいのある町民などから、次のように改善を求める声も聞かれます。

- ① デマンドタクシーは乗合のため時間の予測がつかず予定が立たない、市街地は乗降所に行くまでが大変、などの意見があります。改善できませんか。
- ② 除雪サービスでは、農村地域で間口・戸口除

間口は除雪時に丁寧に、心がけています。

除雪の間口は、担当課でも社協でも、どちらでも受付できるように図っていきます。

- ③ 周知は民生委員や社協とも連携し、広報などでPRしていきます。

町長

雪が大変との声もありません。改善できませんか。除雪サービスが、間口・戸口除雪サービスによつて、申し込み先が福祉課・サービス課や社協に分かれて、複雑です。窓口を一本化できませんか。

- ③ 除雪やタクシー券の対象者拡大など、良いサービスが十分に周知されていません。

良い環境をどう作るかが福祉の原点です。

- ① デマンドバスに不都合があれば改善し、良い方向を目指します。
- ② 農村地域の除雪は、戸口から出口までを委託している例が多く、条件を満たせば除雪サービス支援があります。



問 通年プールとトレイニング場を

答 ハード・ソフト面から慎重に検討

質問

筋肉をきたえることが健康維持に有効です。

合宿の里構想からも、

通年の温水プールと筋肉トレイニング場を造るべきです。

町長

すぐにできるものと、できないものがあります。室内でのトレイニング機器などは、旧小学校の体育館や海洋センターなどに配置できますが、器具だけでなく指導者の確保など様々な課題があり、ハード・ソフトの両面から慎重に考えたいと思います。

問 旭川へのバス代支援を

答 タクシー券のバス拡大

質問

タクシー券の支給など引きこもりにならず、外出の機会を確保していることは喜ばれています。

タクシー券は対象が拡大されましたが、対象外の年金受給者や車があつ

ても夫婦で通院など旭川に出かけるなど、別々の用事があることもありバス代補助の要望が寄せられています。

旭川市の高齢者は、1回100円で乗れるとのこと。外出機会を確保する意味でも補助を検討しませんか。

町長

高齢者タクシー券を旭川でも使えるように拡大しました。またタクシーだけでなくバス業者の「アスカ」というカードを使い、一部をバス利用できるように検討していきますので、当面はタクシー券で両方使うというところでお願いしたいと思います。

自家用車の場合、バスだけ支援するのかとの意見もありますので、ご夫婦の場合は役割を分担しながら助け合つてお願いしたいと思います。

一般質問

問 ふるさと納税の状況は

答 合計実額9900万円



安原 芳博

(二問一答方式)

質問

- ① 東川のホームページへの、年間アクセス数はどのくらいですか。
- ② ふるさと納税において、返礼品を差し引いた金額を教えてください。
- ③ ふるさと納税の東川の住民税の控除額の状況は、どうなっていますか。

町長

- ① 昨年は、年間34万8000件、平均すると、1カ月2万9000件、1日約1000件です。
- ② 平成20年から26年11月末の投資額合計は、約

ラフト・観光業者、サークルなどに、アイデアを募集し、開発費を出すのはいかがでしょうか。

町長

町内外の意見を聞いて、ふるさと納税額の増加に取り組んでいきます。

質問

- ③ 東川町民が他自治体に寄付したのは9件で、約16万円です。

町民が東川町に寄付した数は59件、約196万円です。



返礼品：フォトスタンド
(お子さんの足形刻印付き)

問 コミュニティスクールは

答 平成28年度導入

質問

コミュニティスクール検討の進捗状況を教えてください。

教育長

コミュニティスクールは、保護者や地域住民が教育活動に意見を述べる、学校運営協議会を設置した学校のことです。

議会を傍聴しませんか

次回は3月10日～16日(予定)

町議会では、町民の暮らしに関する重要な事柄が審議されています。

3月は1年の予算を決める大切な議会です。

議場は、役場3階、傍聴席は30席あります。団体の傍聴は、資料の準備もありますので、事前にお知らせください。

議会事務局 82-2111

学校と地域双方が、子どもを育て、地域づくりを行っていくビジョンを共有できる利点がある、と考えます。

学校運営協議会委員は、学校運営の基本方針を承認し、教育活動に意見を述べたりすることで、一定の権限と責任を持って参加することができます。

今年度教育委員会では、

小中学校の校長・教頭を道教育委員会主催の研修会に派遣し、校長・教頭会議で勉強会を開催するなど、平成28年度導入に向けて、準備を進めています。

東川小学校と中学校で導入し、その後、第1・第2・第3小学校の導入を検討します。

第4回定例会の主な質疑

(平成27年12月15日)

質問(藤倉智恵子)

①地域活動推進委員手当はなくなりませんか。

②校長先生も副会長です。特別職になってもよいのですか。

答弁(写真文化首都創生課長)

①事務局長分はそのままで。会長、副会長手当分は、町が直接支払います。

②校長先生は常勤の公務員で、振興区の役員になると、非常勤の特

別職となるのは好ましくはないです。町長の許可を得る、報酬を遠慮するなど、一応は可能となっております。

質問(藤原啓子)

①人数の多い自治振興区は、仕事の量も多いが、人数割りは考えなかったのですか。

②自治振興区に住んでいる町民は全員会員になるのですか。

答弁(写真文化首都創生課長)

①会長などの非常勤の特別職の手当に差をつけることは、難しいと思います。

②自治振興会は公的なもので、従前のように行政サービスをします。

質問(鶴間松彦)

①第5条に町長は、町の重要な事項を決定する場合に、振興会の意見を聞く、とありますが、どのような形で考えていますか。

②自治振興会を構成する町内会の規定がありません。条例に入れるべきです。

答弁(写真文化首都創生課長)

①自治振興会と協議し、

町民に集まっていたかどうか、役員の範囲だけなのかを、相談して進めます。

答弁(副町長)

②条例に自治振興会の規約にはこういうものを入れて下さいと書いてあるので、振興会同士、統一していただきたいと思えます。

質問(鶴間松彦)

写真甲子園映画化で、1000万円の予算でした。次年度以降の説

明願します。

写真甲子園映画化に

ついては、1億2000万円位かかります。ふるさと納税の募集と企業の応援で半額程度できたと思います。

第6回臨時会の主な質疑

(平成27年11月30日)

質問(鶴間松彦)

株主事業の今年度増えた人数、寄付額は、どのくらいですか。

答弁(企画総務課長)

前年比で1・2倍の伸びです。金額にして約650万円です。

質問(鶴間松彦)

生活支援給付費の低所得者に対する灯油の補助はどのようになっていますか。

答弁(保健福祉課長)

住宅等に居住する対象世帯に、事前に郵送しま

補助対象単価は1リ

ットルあたり100円と設定しています、現在70円前半という状況ですが、今後の動向を見ながら判断します。

質問(藤倉智恵子)

生活支援給付は、自ら申請するのですか。

答弁(保健福祉課長)

オール電化の公営住宅等に居住する対象世帯に、事前に郵送しま

質問(大澤聰)

ふるさと納税で、その他消耗品650万円は返礼品ですか。

今後の返礼品ほどの程度のもので対応しますか。

答弁(企画総務課長)

1万円以上の寄付で概ね5千円程度の返礼品です。

返礼品を選択できないので、今後、選択できるように、商店、企業等に交渉をしています。

ふるさと納税額比較表

(H26 - H27)

単位：円

	平成26年度	平成27年度
4月	1,054,000	2,681,000
5月	2,628,000	1,782,000
6月	1,804,000	2,229,000
7月	1,750,000	2,057,000
8月	1,086,000	3,116,000
9月	1,844,000	3,876,000
10月	1,493,000	4,782,000
11月	921,000	5,706,000
12月	4,169,000	57,711,000
小計	16,749,000	83,940,000
1月	945,000	
2月	1,641,000	
3月	1,950,000	
計	21,285,000	83,940,000

第1回全員協議会

開催日	議 件 名
平成28年 1月20日	1) 「芸術文化交流センター大規模改修工事その2」の概要について 2) 「農村環境改善センター大規模改修工事」の概要について 3) 「写真文化首都創生館」建設構想について 4) 「まち・ひと・しごと創生農園」整備構想について



川島勲代表監査委員が、4期16年間、会計の監査責任者として、重責を担ってこられました。平成28年1月31日付で、任期満了のため退任されました。

監査委員退任

介護報酬の改定及び介護保険制度の改定に関する意見書

意見書を採択し、議長名で内閣総理大臣及びそれぞれの関係大臣などに送付しました。

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できる仕組みと、介護労働者が安心して働き続ける環境整備が求められています。

記

1 訪問介護及び通所介護サービスの市町村事業への移行にあたっては、利用者の意向や主体性が尊重され、介護認定及びサービス利用が抑制されないように、必要な措置を講じるとともに、自治体の実情を勘案し、経過措置の延長を検討すること。

2 介護労働者の安定的確保のため、処遇改善や基本給の賃金を改善

3 特別養護老人ホームの対象者の中・重度重点化について、軽度者の状況を的確に把握し、過度な入所制限を行わないこと。

高年齢者が住み慣れた地域で安心して生活できる仕組みと、介護労働者が安心して働き続ける環境整備が求められています。

3 特別養護老人ホームの対象者の中・重度重点化について、軽度者の状況を的確に把握し、過度な入所制限を行わないこと。

研修会報告

10月27日当麻町公民館まともーるにおいて上川管内町村議会議員研修会が行われました。



講師は最近NHKスペシャル番組「世界同時食糧危機」などにも出演している東京大学大学院農学国際専攻教授の鈴木宣弘氏（写真右側）です。

「TPP交渉について」食と農と暮らしを守る真の闘いはこれから未来を切り開く強い覚悟をもつ事が大切と、述べました。

もう一人、テレビ朝日



「TVタックル」で「そこまですべて委員会」でおなじみの経済ジャーナリスト、須田慎一郎氏（写真左側）は「日本経済の課題と展望」と題して、それぞれに今の現状や今後の日本の立場や考え方、又、世界とのかかわりなどについて熱くわかりやすく講義されました。



傍聴席の町民と東川小学校6年生

(平成27年11月30日)

議 決 の 内 容	結 果
<ul style="list-style-type: none"> ・ 33,565千円を増額し、総額6,894,373千円とする ・ 4,178千円を増額し、総額181,678千円とする ・ 73千円を減額し、総額393,109千円とする 	<p>原案可決</p> <p>〃</p> <p>〃</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 人事院勧告に基づく期末・勤勉手当及び俸給表等の改正に伴う条例の改正 ・ 人事院勧告に基づく期末手当支給率の改正に伴う条例の改正 ・ 〃 	<p>原案可決</p> <p>〃</p> <p>〃</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 東7号北7線奥の山林の取得 	<p>原案可決</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 阿波団体道路改良工事(第2工区)契約金額「67,608,000円」を「68,072,400円」に変更 ・ 芸術文化交流センター大規模改修工事その1契約金額「287,280,000円」を「291,168,000円」に変更 ・ 草刈作業中の飛石による車両破損事故にかかる損害賠償についての報告 ・ 交通事故に伴う損害賠償についての報告 	<p>報告済</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p>

(平成27年12月15日)

議 決 の 内 容	賛成・反対
<ul style="list-style-type: none"> ・ 40,127千円を減額し、総額6,854,246千円とする 	<p>原案可決</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 町内56行政区を5つの自治振興区に再編することに伴う条例の制定 ・ 住民の利便性を高めることができる事務について、個人番号の利用を可能とするため、自治体が独自利用事務として条例を制定 ・ 運営開始に伴う条例の制定 ・ 地方税法等の一部を改正する法律、政令及び施行規則の一部を改正する省令の公布に伴う条例の一部改正 	<p>9 : 1</p> <p>原案可決</p> <p>〃</p> <p>〃</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 任期満了に伴う、安井繁光氏の選任(新任) 	<p>原案同意</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 「広域観光のネットワーク化」の事業内容の表現の追加及び「防災体制の整備」の事業内容を追加する協定の変更 ・ 「東川町防災宿泊センター」を株式会社東川振興公社に指定管理 ・ 東川町表彰条例に基づく自治功労者1名、消防功労者10名の表彰 	<p>原案可決</p> <p>〃</p> <p>原案同意</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 鶴間松彦議員より、意見書について趣旨説明 	<p>原案可決</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 総務文教、産業建設、議会運営の各委員長からの申し出 	<p>原案可決</p>



第6回臨時会の議案審議結果

区 分	議 件 名
補正予算	平成27年度 東川町一般会計補正予算（第5号）について 平成27年度 東川町公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）について 平成27年度 国民健康保険東川町立診療所特別会計補正予算（第3号）について
条 例 等	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について 議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について 特別職の職員で常勤のもの給料及び旅費支給条例等の一部を改正する条例の制定について
その他案件	土地の取得について
報 告	専決処分報告について（工事請負契約の金額の変更について） 専決処分報告について（損害賠償について）

第4回定例会の議案審議結果

区 分	議 件 名
補正予算	平成27年度 東川町一般会計補正予算（第6号）について
条 例 等	東川町地域自治振興区の設置に関する条例の制定について 東川町個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の制定について 東川町防災宿泊センター条例の制定について 東川町税条例等の一部を改正する条例の制定について
人事案件	東川町監査委員の選任について
そ の 他 案 件	定住自立圏形成協定の変更について 指定管理者の指定について 被表彰者の推薦について
意 見 書	介護報酬の改定及び介護保険制度の改定に関する意見書について
そ の 他	閉会中の所管事務等の調査の申し出

議会日誌

平成27年11月

- 3日 韓国長水郡農業視察研修歓迎会
- 9～11日 安心・安全でおいしい地下水サミット(福島県小野町)
- 11日 第59回町村議会議長全国大会
- 11～14日 上川管内議長会現地研修会
- 17日 例月公金出納検査(東川町・大雪地区広域連合)
- 24・25日 上川中央部市・町議会議長会正副議長研修会
- 28日 第39回社会福祉大会
- 30日 東川町議会第6回臨時会



氷まつり



氷まつり

12月

- 1日 定例会前常任委員会
- 8日 議会運営委員会
- 15日 東川町議会第4回定例会
- 18日 例月公金出納検査(東川町・大雪地区広域連合)
- 22日 一部事務組合・広域連合議会

平成28年1月

- 3日 新春の集い
- 5日 東川消防団出初式
- 7日 議会報編集特別委員会(1回目)
- 10日 平成28年成人式
- 14日 議会報編集特別委員会(2回目)
- 15日 氷祭り、雪像制作
- 19日 例月公金出納検査(東川町・大雪地区広域連合)
- 20日 第1回全員協議会
- 21日 議会報編集特別委員会(3回目)
- 29日 上川中央部市・町議会議長会定例会議



氷まつり

編集後記

輝かしい新年を迎え「新春の集い」が1月3日に改善センターで開催された▼写真甲子園映画制作がスタートし監督の菅原浩志氏から情熱のこもったスピーチもいただいた▼昨年東川町には全国から34件の市町村議会議員行政視察が集中▼さらに日本で始めて自治体立の「日本語学校」が開校し知名度も注目度も上がった▼天人峡温泉に町内初の「足湯」が完成、観光振興が期待される▼旧東川小学校の改修も進み防災センターの宿泊施設が完成展示室、給食設備等の工事が始まる▼写真甲子園映画化は高校生と町民が主役、皆さんの協力で成功させよう。